

松戸市定例記者会見資料(別冊)
令和7年2月14日

令和7年度 松戸市当初予算案について

令和7年度松戸市当初予算案を令和7年
松戸市議会3月定例会に提案します

祝松戸市人口50万人到達
令和6年6月7日



松 やさシティ、まつど。
matsudo

松戸市の人口(令和7年1月31日現在)
500,094人(住民基本台帳人口)

松戸市財務部財政課

☎047-366-7076 FAX047-366-1241

✉mczaisei@city.matsudo.chiba.jp

本市を取り巻く社会情勢の変化について

- ① 資材価格の高騰や労務単価の上昇による委託料や工事請負費等の行政経費の増
- ② 民間企業の賃上げの影響を受け、人事院勧告による職員人件費や保育、介護、障害等の公定価格の増
- ③ 資材価格の高騰や賃上げによる市税、地方交付税収入の増



このような状況下、

本市がやるべきこととして、物価高騰の影響が大きい子育て世帯への支援を拡大するとともに、新規事業や必要な投資、特に中長期的な税収増が期待される事業への投資も積極的に予算措置。

➔ 一般会計予算 過去最大 1,949億8,000万円 (前年度比 110億3,000万円 6.0%増)

- 過去に類を見ない資材価格の高騰や賃上げ等により、歳出予算が著しく急増するなか市税や地方交付税の増収効果は翌年度以降とタイムラグが生じることから、一時的に財政調整基金(市の貯金)を活用。
- 例年以上に厳しい予算編成となりましたが、市民を応援する物価高騰緊急対策を含めた経費について、例年同等規模の基金取り崩し(20億円)にて収めることができました。

歳出について

- ① 物価高騰の影響が大きい子育て世帯に対して、
 - 小・中学校給食費の完全無償化(1学期)
(アレルギー等で弁当を持参している児童・生徒への支援含む)
 - 幼稚園児・保育園児、私立小・中学校等就学者、長期欠席児童・生徒への給食費・昼食費支援(1学期)
 - 第3子以降の保育料の完全無償化(9月~)等
を実施します。
- ② 妊娠期から子育て期まで切れ目のない両立支援やまちづくりへの投資等、新規事業も並行して実施します。

歳入について

- ③ 市税収入は、3年連続で過去最大を更新したものの過去に類を見ない資材価格の高騰や賃上げ等の急増分に対応したことで、一時的に財政調整基金(市の貯金)を活用しました。
ただし、これらの影響額については、今後増収が見込まれるため、令和7年度の補正により基金の繰戻しを予定しています。
- ④ 中長期的な歳入を確保するため、税収増につながる事業への投資についても積極的に実施します。

財政調整基金について

●残高：R5年度末：107.3億円⇒R6年度末：80.7億円⇒R7年度末：60.7億円(当初予算時)
(例年の予算編成において20億円程度の取り崩しを実施)

- ⑤ 財政調整基金残高(R6-R5：▲26.6億円)が減少している主な要因としては、国民健康保険特別会計の保険料金の不足に伴う赤字に対応するため、基金の取り崩しを実施したこと等によるものです。
なお、保険料金の値上げ抑制分として、令和4年度から累計52億円の取り崩しを実施しています。

(初については、県内初の取り組み事業)

予算Point ①



➤物価高騰対策として

- ① 小・中学校給食費の完全無償化（1学期）(P9)
(アレルギー等で弁当を持参している児童生徒への支援含む)
- ② 私立小・中学校等就学者、長期欠席の児童・生徒への昼食費支援（1学期）(P9)
- ③ 幼稚園児・保育園児への給食費支援（1学期）(P10)
- ④ 第3子以降の保育料の完全無償化（9月～）(P10)
- ⑤ フリースクール等を利用する不登校の児童・生徒への支援（1学期）(P10)

予算Point ②



➤妊娠期から子育て期まで切れ目のない 両立支援への投資

- 初① 『小学1年生の壁対策』のひとつとして
全小学校で始業前の児童への見守りを実施(P11)
- ② 双子等世帯への支援の充実(P13)
(初ベビーカー購入費用補助、タクシー費用補助等)
- ③ 私立幼稚園教諭に松戸手当を支給
- ④ 乳幼児インフルエンザ予防接種費用の一部助成(P16)
(住民税非課税世帯)
- ⑤ 放課後児童クラブと小学校との連携強化(P14)
(児童の連続した生活の見守り)

予算Point ③

※事業内容の後ろに () がついているものは、詳細ページあり

➤まちづくりへの投資

- ① 駅周辺のまちづくりの推進(P17～20)
(松戸駅、新松戸駅、北小金駅周辺の整備)
- ② 常盤平地区のリニューアル始動(P21)
- 初③ 江戸川、ふれあい松戸川の水辺空間の活用(P22)

➤防災・防犯・安全安心対策として

- ④ 体育館の空調設備の整備（全小・中学校を含む
全避難所）&第二中の校庭に夜間照明の設置(P12)
- ⑤ 街頭・公園・自転車駐車場の
防犯カメラの増設(P24)
県内最多の
設置台数

予算Point ④

➤投資効果の高い事業に対して、 予算を重点的に配分し、税収増につなげる

- ① 新たに市内で事業所を立地した企業等に補助金を
交付（一部の補助金を拡充）
- ② 親世帯と近居・同居するため 市内に住宅を取得
した費用の一部に対し、補助金を交付
(対象を拡充)
- ③ 債券の購入に伴う利子収入の増加 等



令和7年度 松戸市当初予算案 歳入・歳出予算の概要について



松戸市当初予算案の概要

一般会計 国の制度に加え市民を応援する物価高騰緊急対策を含めた予算を措置した結果 **過去最大を更新**

●**歳出**では、過去に類を見ない資材価格の高騰や賃上げ等の急増分に加え、社会保障費の増など、国の制度に基づく増額に対応しつつ、本市のやるべきこととして、物価高騰の影響が大きい子育て世帯に対し、**小・中学校給食費の完全無償化**（アレルギー等で弁当を持参している児童・生徒への支援含む）（1学期）、**私立小・中学校等就学者、長期欠席の児童・生徒への昼食費支援**（1学期）、**幼稚園児・保育園児への給食費支援**（1学期）、**第3子以降の保育料の完全無償化**（9月～）等を実施するとともに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない両立支援、まちの再生・リニューアル等の予算をそれぞれ措置しました。

●**歳入**では、市税収入について、個人市民税の納税義務者数の増加や平均給与収入等の増を見込み、3年連続で**過去最大を更新**しました。地方交付税についても、国の地方財政計画において、地方交付税の代替措置である臨時財政対策債の発行額が制度創設以来、初めてゼロとなったため、地方に配分される額が大幅に増額となりました。また、中長期的な歳入を確保するため**税収増につながる事業への投資**についても積極的に実施します。

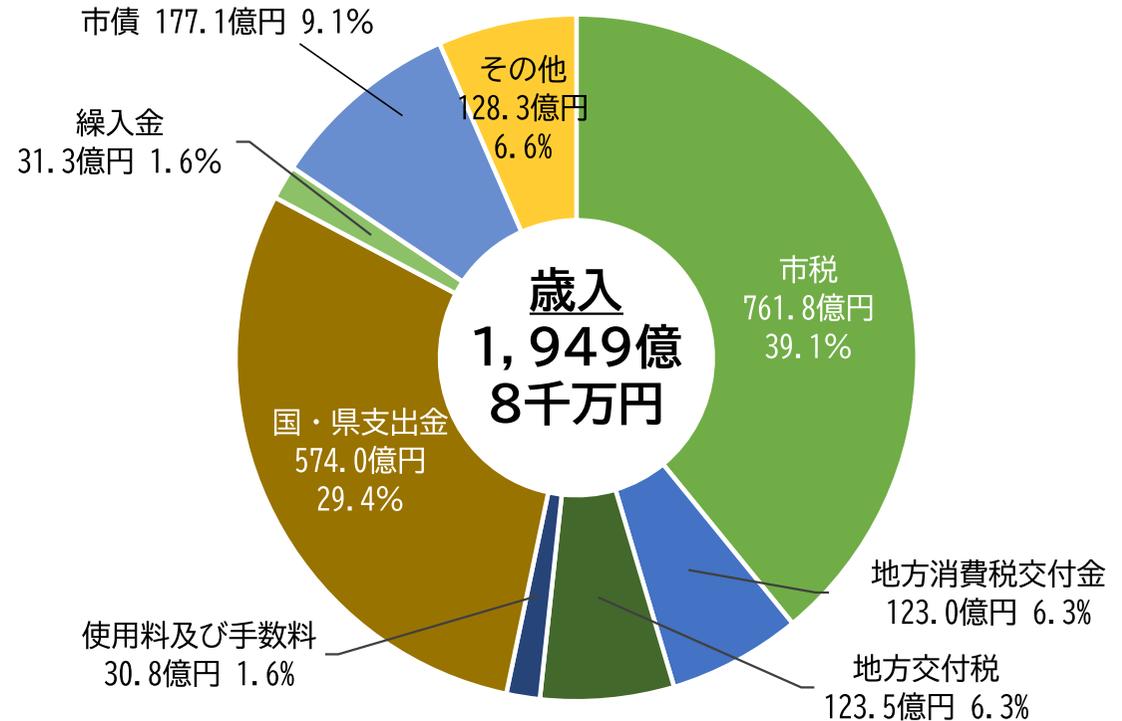
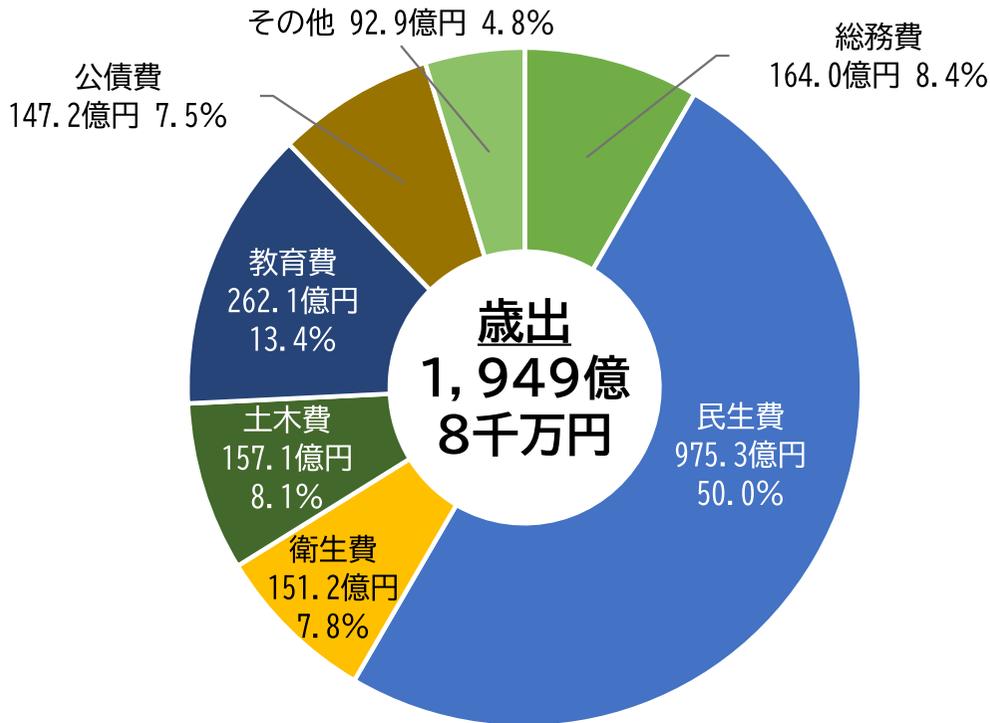
○**一般会計** 1,949億8,000万円（前年度比 110億3,000万円 6.0%増）

○**予算総額** 3,781億3,696万円（前年度比 138億8,459万円 3.8%増）

（単位：億円）

【当初予算案内訳】		令和7年度	令和6年度	R7-R6
一般会計		1,949.8	1,839.5	110.3
特別会計	国民健康保険特別会計	419.0	429.4	▲ 10.4
	競輪特別会計	343.7	346.6	▲ 2.9
	公設地方卸売市場特別会計	1.0	1.0	0.0
	駐車場事業特別会計	1.7	1.6	0.1
	介護保険特別会計	440.2	421.5	18.7
	後期高齢者医療特別会計	81.7	78.6	3.1
	新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計	16.3	16.6	▲ 0.3
	相模台地区土地区画整理事業特別会計	0.8	1.0	▲ 0.2
	計	1,304.4	1,296.3	8.1
企業会計	水道事業会計	24.8	24.2	0.6
	病院事業会計	315.5	293.0	22.5
	下水道事業会計	186.9	189.6	▲ 2.7
	計	527.2	506.8	20.4
予算総額		3,781.4	3,642.6	138.8

一般会計 予算案の内訳



歳出のポイント

民生費 975.3億円 (前年度比 34.2億円 3.6%増)

- ・物価高騰対策として、第3子以降の保育料の完全無償化(9月～)、幼稚園児・保育園児への給食費支援(1学期)を進めます。
- ・また、双子等世帯に対する支援、私立幼稚園教諭に松戸手当の支給、高齢者の加齢性難聴に対する支援等も進めていきます。

土木費 157.1億円 (前年度比 ▲40.6億円 20.6%減)

(※前年度比減の要因については、新拠点ゾーン土地購入▲38億円)

- ・松戸駅周辺地区、新松戸駅東側地区、北小金駅周辺地区のまちづくりの推進、常盤平地区のリニューアル始動、江戸川、ふれあい松戸川の水辺空間の活用に係る事業等を進めていきます。

教育費 262.1億円 (前年度比 66億円 33.6%増)

- ・物価高騰対策として、小・中学校給食費の完全無償化(アレルギー等で弁当を持参している児童・生徒への支援含む)(1学期)、私立小・中学校等就学者、長期欠席の児童・生徒への昼食費支援(1学期)、フリースクール等の利用者への学費の支援(1学期)を進めていきます。
- ・体育館の空調設備の整備(全小・中学校含む全避難所)、第二中の校庭に夜間照明の設置、校舎の長寿命化や増築工事等を進めていきます。

歳入のポイント

市税 761.8億円 (前年度比 27.2億円 3.7%増)

○市税については、**3年連続で過去最大を更新**しました。

(※R6年度については、国の定額減税を考慮しない)

- ・個人市民税については、引き続き納税義務者数の増加や平均給与収入の増を見込み370億円(前年度比 16.2億円 4.6%増)としました。
- ・固定資産税については、新築家屋の増加等を見込み265.9億円(前年度比 8億円 3.1%増)としました。

地方交付税 123.5億円 (前年度比 24億円 24.1%増)

○地方交付税については、**過去最大を見込み**ました。

- ・国の地方財政計画において、国税収入の増収が見込まれることから地方交付税の代替措置である臨時財政対策債の発行額が制度創設(H13～)以来、初めてゼロとなったため、地方に配分される交付税が大幅に増額となりました。
- 中長期的な歳入を確保するため税収増につながる事業への投資についても積極的に実施します。

一般会計 市債の状況 市税に占める返済額（公債費）の割合について

借入額（市債）

※借入額（市債）は、借換債、臨時財政対策債を除く普通債について記載しています

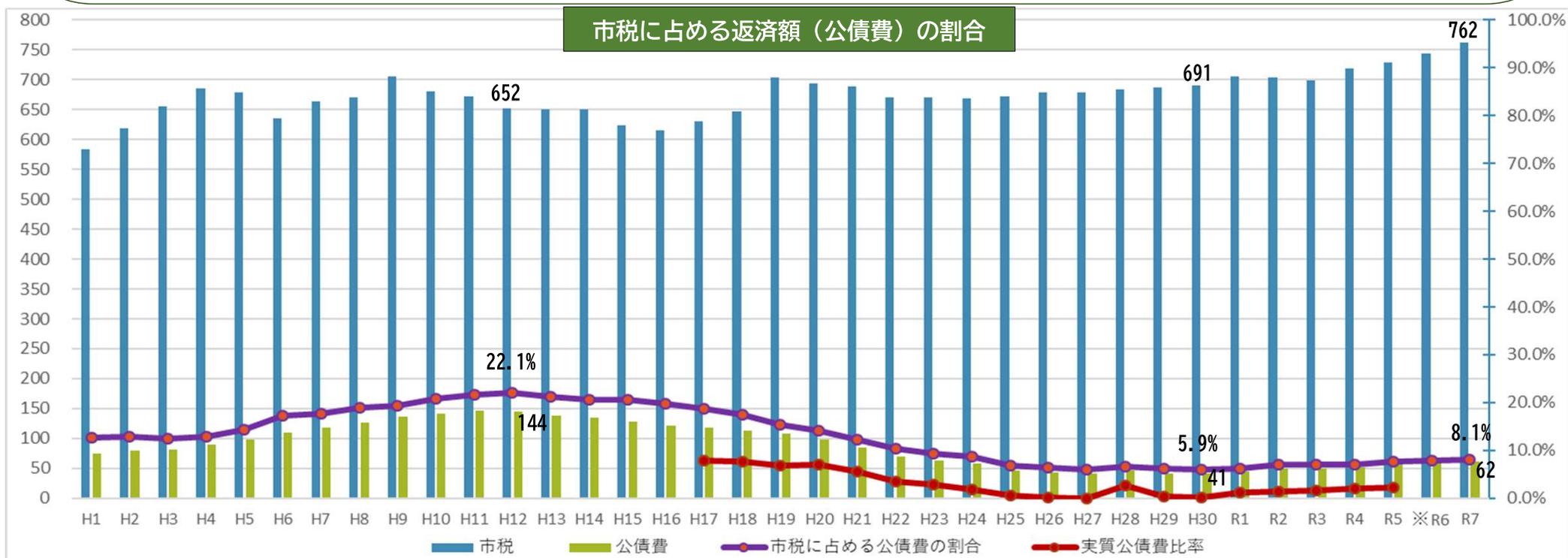
- 令和7年度予算の借入額（市債）は、150.1億円を見込んでいます。
- 借入額（市債）については、施設や道路等の建設事業費の財源として措置するもので、令和7年度の主な事業として、体育館の空調設備の整備99.4億円、松戸駅周辺地区・新松戸駅東側地区・北小金駅周辺地区・常盤平地区の整備15.1億円などを予定しています。

借入残高

- 令和7年度末借入残高の見込みは、755億円（前年度比91億円増）となります。
- 借入残高が増加した要因として、令和7年度の新規事業である体育館の空調設備の整備、駅周辺の整備をはじめ、新拠点ゾーンまちづくり用地取得や新松戸駅東側地区の街路整備のほか、小・中学校トイレ洋式化改修、リサイクルセンター、ひがまつテラスの建設など、必要な投資によるものです。

返済額（公債費）

- 近年、歳出における返済額（公債費）は増加していますが、返済の原資となる市税についても堅調に増加しています。
- 令和7年度は、市税が762億円であるのに対し、返済額（公債費）は62億円、割合は8.1%と低い水準となっています。
- 市税に占める返済額（公債費）の割合は下記のグラフで示すとおり、平成12年度を境に平成30年度までは市税の増加や公債の償還が進む過程で低下しました。それ以降は、小・中学校トイレ洋式化改修、リサイクルセンター等の償還が始まったことで、割合は僅かに上昇傾向となっています。



※R6年度の市税については、国の定額減税を考慮しない場合の見込額

※同様の考え方で算定している「実質公債費比率」においては、国の基準を大幅に下回り、また、全国平均及び県内都市平均も下回っており、健全な状態を維持しています。

【令和5年度決算】松戸市2.0%（国の定める早期健全化基準25.0% 全国市町村平均5.6% 県内都市平均5.8%）

一般会計 基金残高の推移

一般会計の各基金については、財政調整基金をはじめ、庁舎建設基金や市債管理基金など将来の負担に備え積み立てているものです。

基金全体として、230～300億円程度（平成26年度～）となり安定的に推移しています。

○財政調整基金（市の貯金）について

令和6年度残高：80.7億円(前年度末比▲26.6億円)

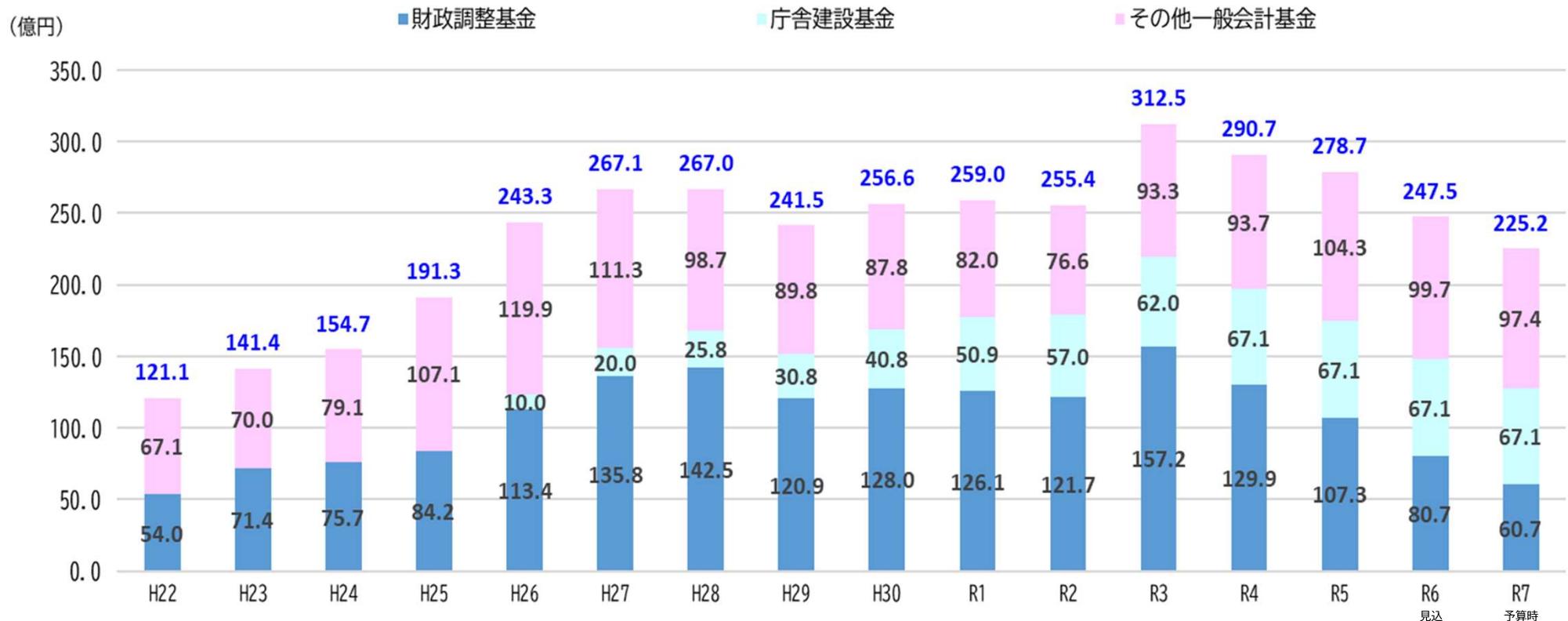
減少の主な要因としては、国民健康保険特別会計の保険料金の不足に伴う赤字等に対応するため、基金の取り崩しを実施したことによるものです。なお、令和4年度から保険料金の値上げ抑制分として、累計52億円の取り崩しを実施しています。

令和7年度残高：60.7億円(前年度末比▲20億円)（当初予算時）

（例年の予算編成において20億円程度の取り崩しを実施）

減少の主な要因としては、過去に類を見ない資材価格の高騰や賃上げ等の急増分に加え、社会保障費の増など、国の制度に基づく増額に対応するため、一時的に基金の取り崩しを実施したことによるものです。

ただし、これらの経費については、今後、市税や地方交付税として増収が見込まれるものとなるため、残高は変動することとなります。



当初予算案 重点事業

※①～⑥は松戸市総合計画の基本目標の項目

※事業内容の後ろの（）は、詳細ページとなる。

(初)については、県内初の取り組み事業を含む項目

① 子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり		予算額 ※（）は一般財源額
新規	(1) 物価高騰対策として ① 小・中学校給食費の完全無償化（1学期）（P9） （アレルギー等で弁当を持参している児童・生徒への支援含む） ② 私立小・中学校等就学者、 長期欠席の児童・生徒への昼食費支援（1学期）（P9） ③ 幼稚園児・保育園児への給食費支援（1学期）（P10） ④ 第3子以降の保育料の完全無償化（9月～）（P10） ⑤ フリースクール等を利用する不登校の 児童・生徒への支援(1学期)（P10）	(7億6,503万6千円) (4,506万2千円) (6,718万1千円) (8,669万8千円) 203万6千円
新規	(初) (2) 『小学1年生の壁対策』のひとつとして 全小学校で始業前の児童への見守りを実施（P11）	4,234万9千円
新規	(3) 体育館の空調設備の整備（全小・中学校を含む全避難所） & 第二中の校庭に夜間照明の設置（P12）	97億8,964万7千円
新規	(初) (4) 双子等世帯への支援の充実（P13）	646万1千円
新規	(5) 放課後児童クラブと小学校との連携強化（P14） （児童の連続した生活の見守り）	339万2千円
② 誰もがいきいきと暮らせるまちづくり		予算額
新規	(1) 加齢性難聴者への支援（P15）	358万1千円
新規&継続	(2) 乳幼児インフルエンザ予防接種・ 带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成（P16）	3,506万1千円

③ 居心地の良い魅力的なまちづくり		予算額
新規&継続	(1) 松戸駅周辺地区のまちづくり ① 新拠点ゾーンの整備 (P17) ② 松戸駅周辺の整備 (P18)	9億9,022万6千円 2億4,051万9千円
新規&継続	(2) 新松戸駅東側地区のまちづくり (P19)	15億4,557万6千円
新規&継続	(3) 北小金駅周辺地区のまちづくり (P20)	7億9,800万円
新規&継続	(4) 常盤平地区のリニューアル始動 (P21)	2億2,116万1千円
新規	初 (5) 江戸川、ふれあい松戸川の水辺空間の活用 (P22)	1,000万円

④ 地域経済が活力にあふれ、自分らしく働けるまちづくり		予算額
拡充	(1) 事業者の成長段階に合わせた切れ目のない支援 (P23)	6,956万1千円

⑤ 安全で安心して暮らせるまちづくり		予算額
拡充	(1) 街頭・公園・自転車駐車場の防犯カメラの増設 (P24)	6,645万1千円
拡充	(2) 客引き行為等の防止強化 (P25)	3,061万2千円

⑥ 人と環境にやさしいまちづくり		予算額
新規&拡充	初 (1) 『はなれていても つながる スマート市役所』の推進 (P26)	7,783万4千円
新規&拡充	(2) ゼロカーボン社会の実現に向けた取り組み支援 (P27)	7,661万4千円

①小・中学校給食費の完全無償化(1学期)

(アレルギー等で弁当を持参している児童・生徒への支援含む)

(学校給食担当室 ☎047-366-7463)

【支援内容】 保護者の経済的負担の軽減を図るため学校給食費(アレルギー等で弁当を持参している世帯への弁当代補助を含む)を1学期のみ完全無償化する。

一人あたり小学生:約5,000円/月、中学生:約6,000円/月の保護者負担軽減

【予算額】 一般財源額:7億6,503万6千円

【対象者】 松戸市立小・中学校に在籍している児童・生徒全員(小学生21,985人 / 中学生10,657人)

【対象期間】 令和7年4月分から7月分まで

②私立小・中学校等就学者、長期欠席の児童・生徒への昼食費支援(1学期)

(学校給食担当室 ☎047-366-7463)

【支援内容】 保護者の経済的負担の軽減を図るため該当世帯に対し昼食費負担軽減の一助として『支援金』を1学期のみ給付する。

一人あたり給付額/月 小学生:低学年(1・2年生)3,800円、中学年(3・4年生)4,000円、高学年(5・6年生)4,300円
中学生:5,000円

【予算額】 一般財源額:4,506万2千円

【対象者】 私立学校等:松戸市立以外の小・中学校に就学している児童・生徒

長期欠席:松戸市立小・中学校在籍者で学校を欠席し、給食を停止している児童・生徒

私立学校等:1,250人(小学生250人 / 中学生1,000人) 長期欠席:1,100人(小学生450人 / 中学生650人)

【対象期間】 令和7年4月分から7月分まで

①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり

新規

(1) 物価高騰対策として

令和7年度予算額：

③④ 1億5,387万9千円（一般財源額）

⑤ 203万6千円

③幼稚園児・保育園児への給食費支援（1学期）（会計別予算案 P59, 64, 65, 67, 71）

（保育課 担当：秋谷 ☎047-366-7351）（幼児教育課 ☎047-701-5126）

第2子・第3子以降の幼稚園・保育園等での給食費を支援します。

【支援内容】 第2子 半額に減免
第3子以降 無償

【対象人数】 4,892人 ※幼稚園、認定こども園（教育利用者）、認可外施設については、第2子月額2,500円・第3子以降月額5,000円を給付

【予算額】 一般財源額：6,718万1千円

（内訳）

保育課	（歳入）	▲700万円	（対象：公立保育所）
保育課保育運営担当室	（歳出）	2,027万円	（対象：民間保育園・認定こども園（保育利用者））
保育課入所入園担当室	（歳出）	66万円	（対象：県指定監督基準等を満たした認可外保育施設）
幼児教育課	（歳出）	3,925万1千円	（対象：幼稚園・認定こども園（教育利用者））

④第3子以降の保育料の完全無償化（9月～）（会計別予算案 P64, 66, 67）

（保育課 ☎047-366-7351）

第3子以降について、保育料減免の年齢制限を見直し、完全無償化とします。

【拡充内容】（国基準）第3子以降 無償 第1子の年齢制限あり（カウント対象の子は、生計を一にする未就学の子）
（現行）第3子以降 無償 第1子の年齢制限あり（カウント対象の子は、生計を一にする小学3年生までの子）
（見直し）第3子以降 無償 第1子の年齢制限なし（カウント対象の子は、生計を一にする子）

【対象人数】 404人

【予算額】 一般財源額：8,669万8千円

（内訳）

保育課保育運営担当室	（歳出）	3,726万8千円	（対象：認定こども園・小規模保育事業所）
保育課入所入園担当室	（歳入）	▲4,943万円	（対象：公立保育所・民間保育園）

⑤フリースクール等を利用する不登校の児童・生徒への支援（1学期）（会計別予算案 P136）

（児童生徒課 ☎047-366-7461）

不登校児童生徒が通うフリースクール等の月額利用料金の一部を補助します。

【補助内容】（目的） 不登校児童・生徒の多様な教育機会の確保

（対象者） フリースクール等を利用する不登校児童・生徒の保護者

（対象期間） 令和7年4月～7月の4か月間 （補助率および金額） 月額利用料金の3分の1 月額補助上限1万円

【予算額】 203万6千円

①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり

※県内初の取り組み事業

新規

(2) 『小学1年生の壁対策』のひとつとして
全小学校で始業前の児童への見守りを実施

令和7年度予算額：4,234万9千円
(会計別予算案 P138)

始業前の児童見守りを全市立小学校にて実施し、朝の居場所づくりと教職員の負担軽減を図る

(教育総務課 ☎047-366-7455)

●事業の目的

保育園の預かり時間との違いによる子どもの預け先
がなくなる「小1の壁」問題に対応

➔ 教職員に負担をかけずに実施する

●事業の実施方法

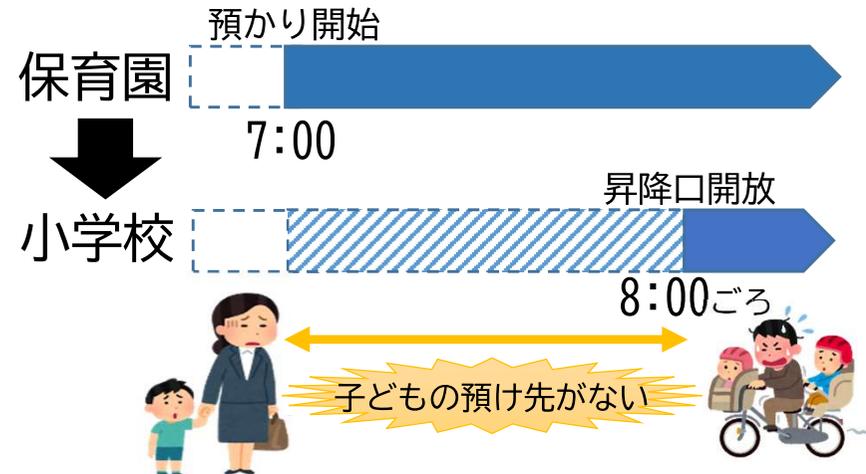
昇降口開放よりも早い時間に登校した児童たちを、
シルバー人材センターの会員2名で見守る。始業後は
校内清掃などを行い、教職員の負担軽減を図る。

令和7年度は市立小学校 全校(45校)で実施

令和6年度 試行した小学校からの声

- 大人の目があることで、児童の安全面の向上や不審者への抑止に繋がっている。
- 校庭の草むしりや落ち葉拾い、校内清掃等、学校の美化活動をしてもらうことで教職員の負担軽減になっている。
- 遅れてくる子どもに対し、人生経験豊富なシルバー会員が上手に対応し、教室まで付き添ってくれるなど非常に助かっている。

子育て世帯の「小1の壁」



シルバー人材センター



シルバー会員

校内清掃など

見守り(2人体制)

小学校



児童

①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり

新規

(3) 体育館の空調設備の整備（全小・中学校を含む全避難所） & 第二中の校庭に夜間照明の設置

令和7年度予算額：
97億8,964万7千円
(会計別予算案 P21, 22,
138~141, 150)

①令和7年度中に全小・中学校を含む全ての体育館（避難所）に空調設備を設置します (学校施設課 ☎047-366-7456)

～熱中症対策や避難所運営の施設環境改善を目的とした空調設備設置&照明のLED化～

対象校：全67校〔小学校46校(旧古ヶ崎南小含む)・中学校20校・市立高校1校〕

総事業費：工事費 88億6,477万1千円(光熱水費別途：4,690万円)

※照明をLED化することにより省エネ化を図り、災害時の点灯を可能にする

スケジュール	
令和6年度	設計委託
令和7年度	工事開始
同年度	工事完了

- ・学校以外の体育館空調設備の設置工事費 7億8,850万2千円
- ・柿ノ木台公園体育館〔スポーツ振興課スポーツ施設担当室〕(1億8,656万円)
- ・市民交流会館〔市民自治課〕(1億2,698万4千円)・青少年会館〔社会教育課施設担当室〕(8,758万2千円)
- ・東部スポーツパーク〔東部CC〕(1億2,534万5千円)・和名ヶ谷スポーツセンター〔和名ヶ谷CC〕(2億6,203万1千円)

②第二中の校庭に夜間照明を設置します (スポーツ振興課スポーツ施設担当室 ☎047-703-8508)

～身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを目的とした夜間照明の設置～

市民が身近な場所でスポーツに親しめるよう、モデルケースとして松戸市立第二中学校の校庭にLED照明を5基設置します。

災害時には、発電機を設置することで、LED照明を点灯させることができます。

総事業費：工事費 8,947万4千円

①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり

新規 (4) 双子等世帯への支援の充実

※県内初の取り組み事業

①双子等用ベビーカーの購入費用の一部補助 (会計別予算案 P50)

●予算額：121万5千円 (子ども未来応援課 ☎047-366-7347)

双子等世帯に対し、経済的負担の軽減を図るとともに外出支援を行うため、**双子等用ベビーカーの購入費用の一部を補助**します。
 想定対象数：40世帯、上限3万円

②双子等の知識や支援に関する研修の実施及び双子等世帯の交流の推進 (会計別予算案 P27,46)

●予算額：15万3千円 (子ども未来応援課 ☎047-366-7347)

双子等世帯の保護者がおやこDE広場等の身近な場所でいつでも相談でき、安心して子育てできる環境を整えるため、子育てコーディネーターを対象に双子等の知識や支援に関する研修会を実施します。
 また、双子等世帯特有の悩みを共有し、情報交換できる交流の機会を増やします。

③双子等世帯の家事育児支援ヘルパー派遣（まつドリbabyヘルパー）の要件緩和及び無料券の利用時間の拡大
(会計別予算案 P50)

●予算額：341万2千円 (こども家庭センター ☎047-308-7210)

双子等世帯がまつドリbabyヘルパーを利用する場合の対象者要件を緩和し、**保育サービスを利用している世帯でも利用可能**とします。
 また、利用促進のために配布している無料券の利用時間を**双子等世帯は12時間から20時間に拡大**することで、双子等世帯の家事育児の負担軽減を図ります。

④双子等家庭支援タクシー利用料の一部助成 (会計別予算案 P85)

●予算額：168万1千円 (こども家庭センター母子保健担当室 ☎047-366-5180)

双子等世帯の外出・経済的支援として、乳幼児健診・予防接種など母子保健事業の利用や双子等家庭向け交流会などへの移動の際に利用したタクシー料金の一部助成(1回につき2,000円、年30回)を行います。

新規

(5) 放課後児童クラブと小学校との連携強化
(児童の連続した生活の見守り)

(会計別予算案 P57)

●放課後児童クラブと小学校との連携を図ることで1日の児童の様子を共有し、児童とともに育てていくことを目指します。
(子ども居場所課 ☎047-366-7464)

1 課題と目的

- 近年、子育て世帯の就労が増加し、放課後児童クラブの利用児童は増加傾向
- 配慮が必要な児童の受入れも年々増加
- 放課後児童クラブ支援員等については、求められる役割や責任が高度化、多様化し**更なる質の向上と処遇改善が必要**

○ 放課後児童クラブ登録児童数の増加

各年5月1日(人)

	R3	R4	R5	R6
クラブ児童数	4,279	4,627	5,079	5,378

2 業務内容

放課後児童クラブ支援員が、午前中は学校内で勤務、午後は放課後児童クラブで勤務し、児童の学校と放課後の連続した生活を支援するための体制を構築し、学校との連携を強化します。

児童の成長に関わる「気づき」の目を増やすことにより、きめ細かな対応を目指します。

連携に係る支援員の1日スケジュール(イメージ)

- 3・4時間目 10:30～12:00 学校で勤務
 - 給食・清掃 12:00～13:30 学校で勤務
 - 放課後 14:30～19:30 放課後児童クラブで勤務
- ※主に1年生等低学年の学級で実施

3 実施経費(予算)

- ① 1カ月1人当たりの追加人件費 75,362円
- ② 試行的に5カ所・9カ月で積算 75,362円×5カ所×9カ月=339万2千円

②誰もがいきいきと暮らせるまちづくり

新規

(1) 加齢性難聴者への支援



令和7年度予算額：358万1千円

(会計別予算案 P163)

●高齢者が活動的で豊かな生活を送るための聞こえの取り組みを開始します

(高齢者支援課 ☎047-366-7346)

1 目的

高齢者の聞こえに関して、難聴の早期発見、早期受診等を進め、補聴器購入費の一部補助を含めた一体的な対策により、介護予防や社会参加の促進を図る。

2 事業の概要

5つの要素をパッケージ化し、高齢者の聞こえの支援体制の構築を行う。



- 認知症予防教室での聞こえの講話(包括)
- 各種イベント、講演会、公式LINE等での周知
- チェックシートを用いた聴力チェック
- 該当者の耳鼻科受診勧奨
- 言語聴覚士による相談
- 耳鼻科受診
- 補聴器購入(非課税世帯に対する購入費の一部助成)※
- 耳鼻科受診勧奨者へのフォロー(認知症予防教室の1~2か月後)
- 補聴器の調整および定期受診勧奨
- 対象者の聞こえや活動意欲・行動の変化の調査分析

※ 補聴器購入費への一部補助

- 対象者: 補聴器購入日(令和7年4月~)において、松戸市に住民登録がある65歳以上
住民税非課税世帯であり、その他の市税・保険料の滞納がない
専門医師により、補聴器使用が必要と診断されている
聴覚障害の身体障害者手帳の交付を受けていない
 - 補助額: 医療機器認定を取得した補聴器購入費用に対して、3万円を上限に補助(1人1回限り)
 - 申請期間: 令和7年6月から受付開始予定
- 以上の要件を全てみたす者
※想定: 約100人

②誰もがいきいきと暮らせるまちづくり

(2) 乳幼児インフルエンザ予防接種・

带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成

令和7年度予算額：3,506万1千円

(会計別予算案 P88,90)

新規

①乳幼児インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成します

(予防衛生課 ☎047-366-7483)

- 内容
- 対象者
- 助成額
- 予算額

子育て世帯の経済的負担の軽減として、インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成します。
 令和7年度の住民税非課税世帯の生後6か月～7歳未満（小学校就学前）の松戸市住民登録者
 1回につき1,500円（2回まで）（対象：約2,500世帯）

継続

②带状疱疹ワクチン接種の費用の一部を助成します

(予防衛生課 ☎047-366-7483)

- 内容
- 予算額

令和7年度に带状疱疹の予防接種が定期接種となるため、現在実施している任意接種の対象者を変更し、定期接種対象者に新たな費用助成を実施します。
 3,306万1千円

	種別	助成対象者 (令和7年度中の年齢)	自己負担額	
			生ワクチン (約9,000円)	不活化ワクチン (2回接種分・ 約44,000円)
新規	定期接種	①65歳以上5歳刻みの人 ②60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる 免疫機能の障害を有する人（身体障害者手帳1 級相当） ③100歳以上の人（令和7年度のみ）	2,500円	13,000円
変更 (対象者)	任意接種	50歳・55歳・60歳の人 (令和6年度は50歳以上の人)	約7,000円	約34,000円

③居心地の良い魅力的なまちづくり

新規 & 継続

(1) 松戸駅周辺地区のまちづくり

① 新拠点ゾーンの整備

令和7年度予算額：9億9,022万6千円

【計画図】

相模台地区土地区画整理事業を推進（会計別予算案 P119, 120, 168）
（松戸駅周辺整備振興課 ㊟047-366-7086）

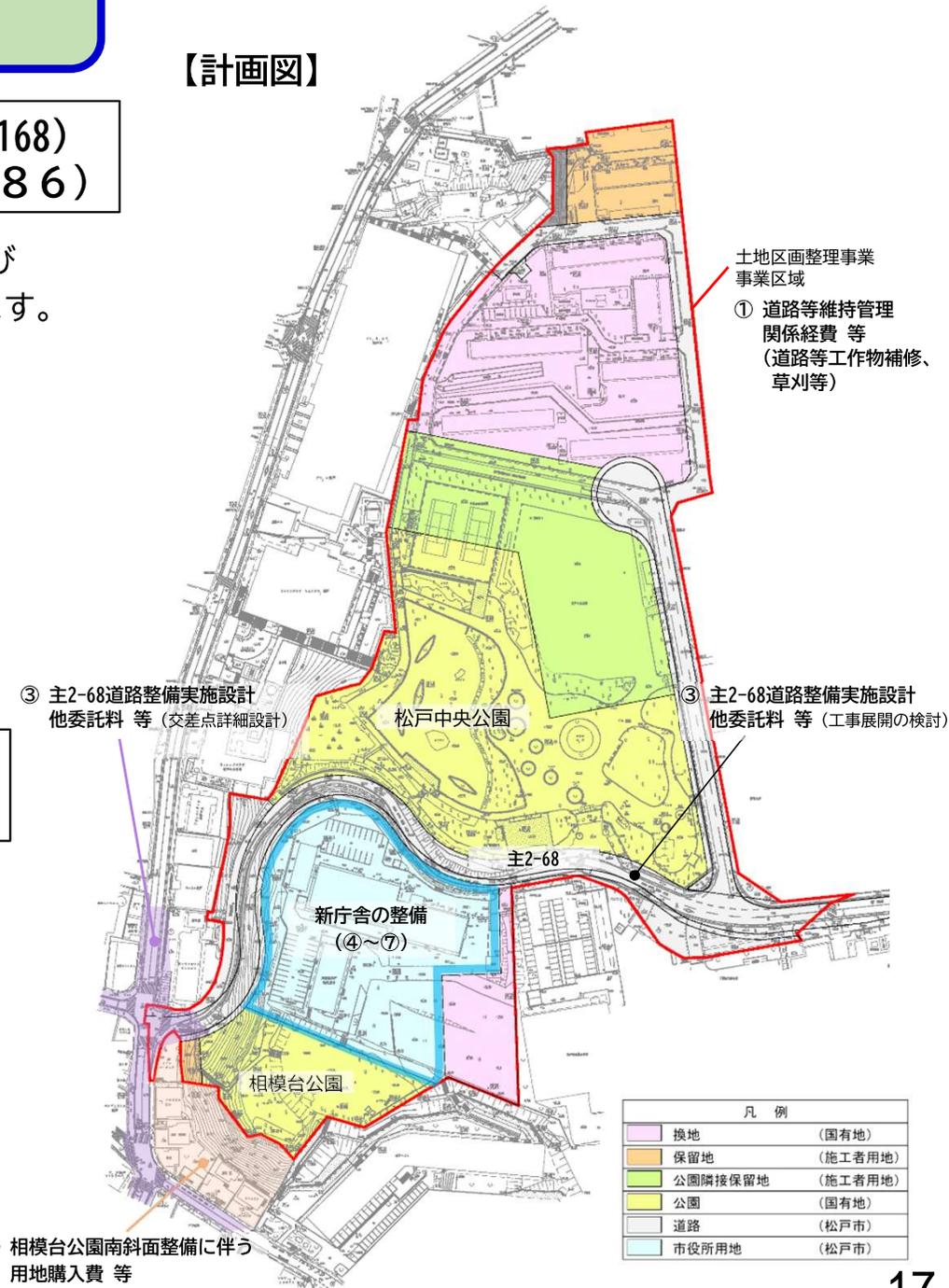
相模台の官舎跡地や松戸中央公園等の国有地を活用し、災害対応拠点及び賑わい交流拠点の形成を行うことを目的に、土地区画整理事業を推進します。

- ◆ 土地区画整理整備事業（特別会計） 1,675万5千円
 - ① 道路等維持管理関係経費等（道路等工作物補修、草刈等）
- ◆ まちづくり基本構想推進業務 6億320万8千円
 - ② 相模台公園南斜面整備に伴う用地購入費等
 - ③ 主2-68道路整備実施設計他委託料等（債務負担行為：R7～R8）
（工事展開の検討、交差点詳細設計）

新庁舎の整備を推進（会計別予算案 P11, 12）
（新庁舎整備課 ㊟047-701-8611）

災害対応の拠点となる市役所の再編整備に向け、事業を推進します。

- ◆ 新庁舎整備業務 1億4,152万9千円
 - ④ 周辺家屋等事前調査委託料（債務負担行為：R6～R7）
 - ⑤ 新庁舎整備基本計画策定委託料（債務負担行為：R6～R8）等
- ◆ 旧松戸法務総合庁舎他解体事業 2億2,873万4千円
 - ⑥ 解体工事【第1期】（継続費：R6～R7）
 - ⑦ 害虫・害獣駆除業務（継続費：R6～R7）



③居心地の良い魅力的なまちづくり

新規&継続

(1) 松戸駅周辺地区のまちづくり

②松戸駅周辺の整備

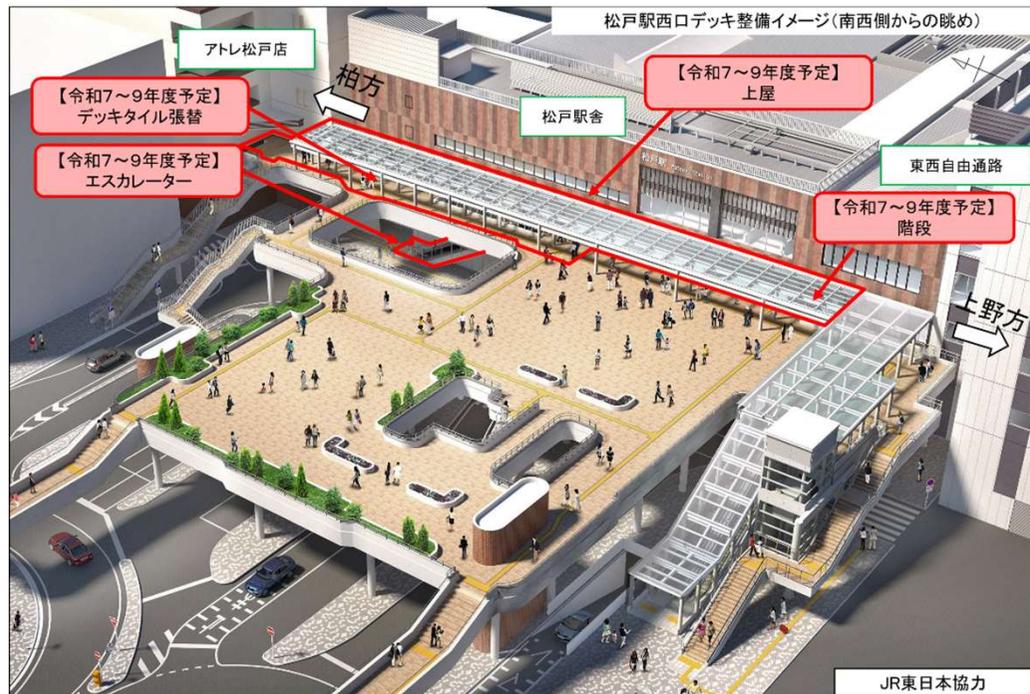
令和7年度予算額：2億4,051万9千円

会計別予算案 P96, 97, 116, 120

松戸駅改良工事に伴う駅周辺整備業務

(街づくり課 ☎047-366-7376)

松戸駅東西口において、JR東日本及び新京成電鉄の松戸駅改良工事に伴いデッキの改良工事を実施しており、西口デッキにおいて、令和7年度から令和9年度にかけて、新設エスカレーター、新設階段等の整備及び関連工事を実施いたします。



※現時点での完成イメージであり、変更となる可能性があります

松戸駅周辺施設等整備事業（継続費：令和7年度分）

松戸駅西口デッキ改良工事及び工事監理委託	1,057万3千円
松戸駅周辺施設等整備業務	
松戸駅東西デッキ施工計画検討及び改良工事等	4,050万円

松戸駅西口・東口公衆トイレ設置工事

(環境業務課 ☎047-366-7332)

松戸駅の西口・東口駅舎内において、昼夜問わず使用できる公衆トイレを設置するための工事を実施いたします。

し尿収集関連業務

松戸駅西口・東口公衆トイレ設置工事費	1億4,333万円
松戸駅西口・東口公衆トイレ建物賃借料	311万6千円

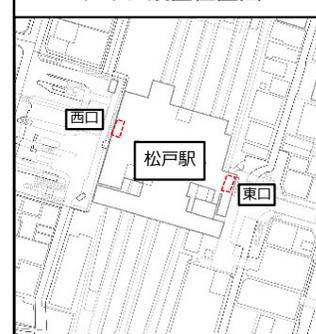
みんなのトイレイメージ



トイレ入口イメージ



トイレ設置位置図



松戸駅東口バス乗り場・東口デッキ付属物設計業務

(道路維持課 ☎047-366-7358)

①松戸駅東口バス乗り場について、バス乗降時の高低差の解消と歩行者の乱横断を抑止し、利便性及び安全性に配慮したバス乗り場に整備するための設計を行います。

道路改良業務

松戸駅東口バス乗り場詳細設計委託	2,000万円
------------------	---------

②松戸駅改良工事に伴い、東口デッキ付属物の改修を実施するための設計を行います。

橋りょう補修業務

松戸駅東口デッキ付属物設計委託	2,300万円
-----------------	---------

③居心地の良い魅力的なまちづくり

新規 & 継続

(2) 新松戸駅東側地区のまちづくり

令和7年度予算額：15億4,557万6千円

(会計別予算案 P122,167)

新松戸駅東側のまちづくりを推進します

(区画整理課 ☎047-366-7375)

新松戸駅東側地区において、健全な市街地の形成と地区の課題である狭あい道路の解消、駅前広場や下水道・斜面緑地の整備などを目的として、市施行による土地区画整理事業を推進するために必要な補償契約や設計、工事等を行います。

また、常磐線快速列車の新松戸駅停車についての資料作成を行います。



●新松戸駅東側地区土地区画整理事業（特別会計）

移転補償費、区域内整備工事、土木実施設計等 15億3,573万2千円

●常磐線快速停車

常磐線快速列車新松戸駅停車資料作成委託等 984万4千円

③居心地の良い魅力的なまちづくり

新規&継続

(3) 北小金駅周辺地区のまちづくり

令和7年度予算額：7億9,800万円
(会計別予算案 P118)

北小金駅周辺地区の整備を推進します

(街づくり課 ☎047-366-7376)

① 北小金駅南口東地区市街地再開発事業

北小金駅南口東地区においては、防災性・安全性の向上、まちの快適さ・暮らしやすさの向上を図るため、北小金駅南口東地区市街地再開発組合により市街地再開発事業が進められています。

令和7年度は、同組合が権利変換に伴う権利者への補償や既存建築物の解体除却工事を実施することから、これを補助します。

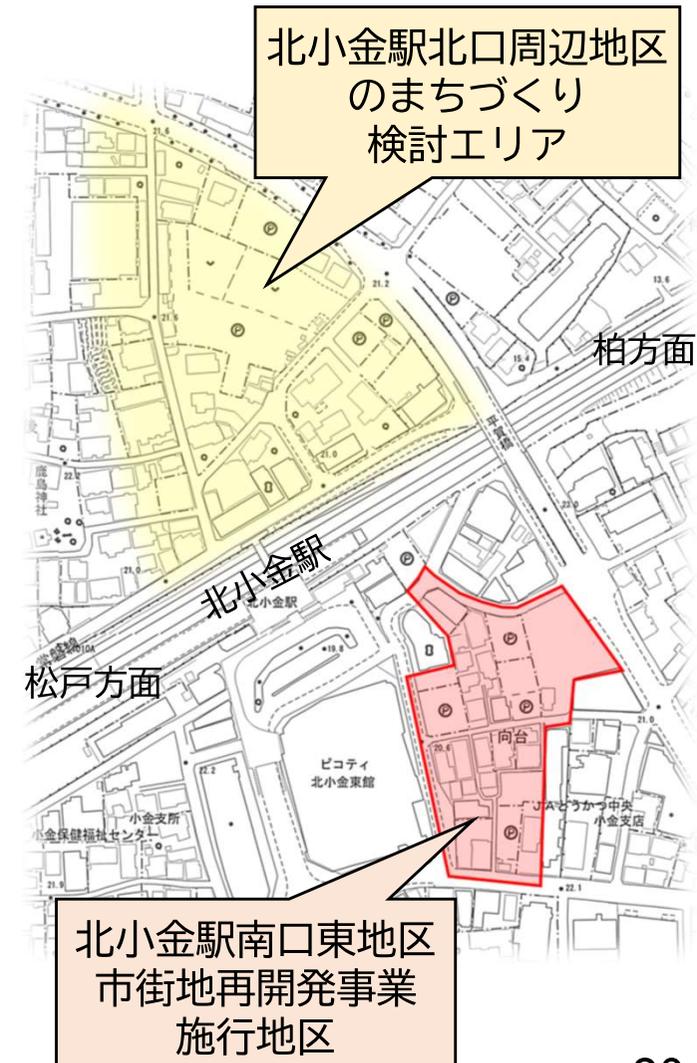
- 市街地再開発事業補助金及び公共施設管理者負担金
7億8,600万円

② 北小金駅北口周辺地区のまちづくり関連事業

北小金駅北口周辺においては、駅前の狭あい道路や歩行者の安全性などの改善や交通利便性の向上を図るとともに、土地の健全な高度利用の促進とあわせて、参道入口にふさわしいまちづくりを目指します。

令和7年度は、北口周辺の基盤整備に必要な公共施設の検討を行うとともに検討エリアの地形測量などを行います。

- 北小金駅北口周辺地区公共施設配置計画検討・測量業務委託
1,200万円



③居心地の良い魅力的なまちづくり

※県内初の取り組み事業

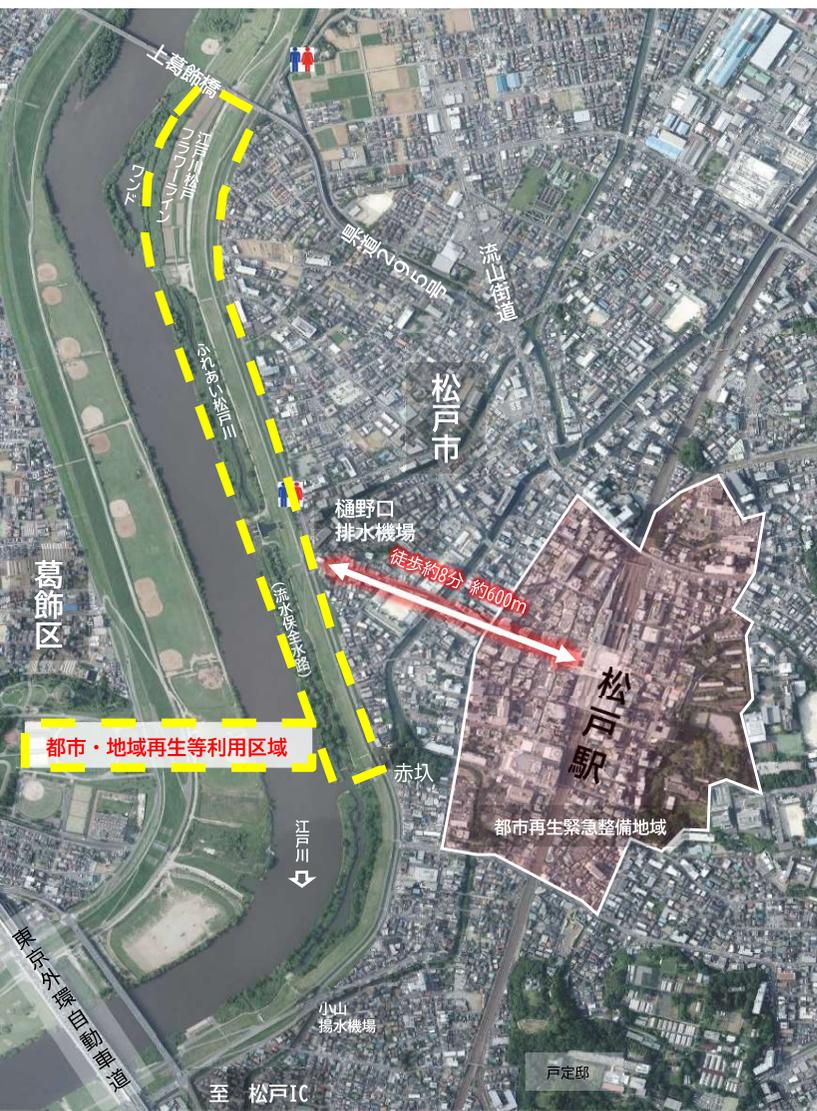
新規 (5) 江戸川、ふれあい松戸川の水辺空間の活用

令和7年度予算額：1,000万円

(会計別予算案 P117)

江戸川、ふれあい松戸川の水辺空間活用基礎調査を実施

(河川清流課 ☎047-366-7359)



江戸川河川敷とふれあい松戸川の活用について

- ・市内の河川水を金町浄水場の取水口下流にバイパスする目的で整備された「ふれあい松戸川」は、市内の河川環境が改善し本来の目的を終了しました。
 - ・整備から約30年が経過し、豊かな生態系が形成されました。
- ⇒こうしたことから、自然環境を維持する事を基本としつつ、**憩いや安らぎ**を提供する良好な**河川空間の形成**を目指し、江戸川河川敷とふれあい松戸川の有効活用を図ります。

□ 河川空間のオープン化について (都市・地域再生等利用区域)

「都市・地域再生等利用区域」を指定し、国から**占用許可**を受けることで河川敷地での**営業活動**を可能としたもの。

オープン化の主な流れ

ハード対策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全安心に係る河川管理通路や親水護岸等の施設整備を通じて水辺整備を支援

(国) 管理用通路や護岸等 河川管理施設の整備

(市・民間等) 休憩施設やトイレ等 利便施設の整備

ソフト対策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ⇒ **RIVASITE：リバサイト**
- ・河川空間の規制緩和
 - ・河川空間を営利目的で利用可能
 - ・占用期間 10年⇒20年

④地域経済が活力にあふれ、自分らしく働けるまちづくり

拡充 (1) 事業者の成長段階に合わせた切れ目のない支援

令和7年度予算額：6,956万1千円

(会計別予算案 P105, 106)

事業者の成長段階に合わせた切れ目のない支援をします

(商工振興課 ☎047-711-6377)



2つの施設を一体で委託

予算額: ①+②合わせて5,956万1千円(委託料)

拡充

①松戸スタートアップオフィス

場所:松戸ビル13階(松戸1307-1)

アイデアを実現するための創業に関する様々な課題に対し、インキュベーションマネージャーが創業者に伴走して支援します。また、創業者向けのセミナーも開催するほか事業拠点を提供します。

実績:692件(R5創業相談件数)



拡充

②松戸ビジネスサポートセンター「ビジまど」

場所:商工振興課執務室内

生産性向上や売上拡大を目指し、潜在的課題の掘り起こしから課題解決まで、中小企業診断士が伴走して支援します。また、時流に合わせたセミナーを開催します。

実績:485件(R5相談件数)



稼ぐ力を
産み出す

稼ぐ力を
高める

稼ぐ力を
バックアップ

拡充

③中小企業デジタル化チャレンジ補助金

人手不足、賃金・物価高騰等の企業を取り巻く課題解決には、デジタル化が不可欠です。生産性向上や売上拡大につながるデジタル化の取組みを支援します。

補助率 :2/3 (ただし、ホームページ作成は1/2 ⇒2/3)

補助上限額:50万円

予算額 :1,000万円

⑤安全で安心して暮らせるまちづくり

令和7年度予算額：6,645万1千円

拡充

(1) 街頭・公園・自転車駐車場の防犯カメラの増設

(会計別予算案 P15, 121, 124)

防犯カメラを設置し、子どもを見守り、地域の治安を向上します

地域の治安向上につなげるため、街頭・公園・自転車駐車場に防犯カメラを増設します。

【県内近隣市比較（自治体管理の防犯カメラ台数：R6.3末時点）】

市	松戸市	千葉市	市川市	船橋市	柏市
台数	582	75	330	3	166

本市においては、
県内最多の設置台数

【予算内訳】

【街頭】（市民安全課 ☎047-366-7285）

○市設置型防犯カメラ設置工事（新規5台、更新20台）

○市民参加型防犯カメラ設置補助金（66台）

小計 4,875万円

【公園】（公園緑地課 ☎047-366-7380）

○公園内新設7か所8台（新松戸南公園2台、八光台公園・中和倉公園・相川公園・

栄町第1公園・貝ノ花第3公園・鴻之台公園各1台）

1,698万9千円

【自転車駐車場】（交通政策課 ☎047-366-7439）

○新設2か所

（松戸駅東口高架下自転車駐車場、馬橋駅西口高架下自転車駐車場）

71万2千円

⑤安全で安心して暮らせるまちづくり

【拡充】 (2) 客引き行為等の防止強化

令和7年度予算額：3,061万2千円

(会計別予算案 P15)

松戸駅周辺を安心して歩けるよう、客引き対策を強化します

(市民安全課 ☎047-366-7285)

客引き行為等をさせない指導・監視・見守り体制をより一層強化するため、新たに水曜日と木曜日の警備員を4名配置し、月曜日と火曜日を除く毎日に拡充することで、市民が安心して松戸駅を利用できる環境を整えていきます。

【拡充内容】

水曜日・木曜日に、松戸駅西口のエスカレーターを下りた地点に警備員4名を新規配置。

同地点に配置していた指導員2名を、松戸駅東口等を含めた駅周辺全域の警戒に変更。

【客引き行為等対策 指導員・警備員配置比較】

曜日		月	火	水	木	金	土	日・祝 祝前日
配置時間	指導員	15:15~ 22:00	15:15~ 22:00	16:15~ 22:00	15:15~ 22:00	15:15~ 22:00		
	警備員					16:00~ 23:00	16:00~ 23:00	16:00~ 23:00
松戸駅	磯丸水産	2名	2名	2名	2名	2名		
	周辺全域					4名	4名	4名
八柱駅・新松戸駅				2名	2名			



曜日		月	火	水	木	金	土	日・祝 祝前日
配置時間	指導員	15:15~ 22:00	15:15~ 22:00	16:15~ 22:00	15:15~ 22:00	15:15~ 22:00		
	警備員			16:00~ 23:00	16:00~ 23:00	16:00~ 23:00	16:00~ 23:00	16:00~ 23:00
松戸駅	磯丸水産	2名	2名			2名		
	周辺全域			4名	4名	4名	4名	4名
八柱駅・新松戸駅				2名	2名			

⑥人と環境にやさしいまちづくり

(1) 『はなれていても つながる スマート市役所』の推進

令和7年度予算額：7,783万4千円

(会計別予算案 P13,14)

「はなれていても つながる スマート市役所」を推進し、更なる市民の利便性向上を図ります。

(情報政策課 ☎047-366-7399)

※県内初の取り組み事業

新規

- 1 (1) 複数の事業で活用可能なメタバース市役所「メタまーつ」の構築・導入
(2) デジタル住民ポータルサービス「デジまっ」の導入実証を開始

予算額
2,830万円

- (1)メタバース技術を活用したもう一つの仮想空間上の市役所「メタまーつ」を構築・導入し、市民との新たな接点・つながりを創出します。また、複数の行政サービスを「いつでも・どこでも」利用可能にしていきます。
(2)スマートフォン等で「松戸市民一人ひとり」に合わせたオンラインサービスや情報を提供する市独自の市民ポータルサイト「デジまっ」の実証を開始します。ポータルサイトからオンライン申請システムやメタバース市役所などの各デジタルサービスが利用できることにより、最終的には市民の手続きや相談がデジタル上で完結していくことを目指します。

新規

2 庁内手続き案内システムを導入

予算額 528万円

窓口の他、オンライン申請、マイナポータル、コンビニ交付、郵送など、多様化する庁内手続きについて、市民の申請状況に合わせた最適な、手続き方法や必要な持ち物等を公式ホームページやインターネット上で案内するシステムを導入します。「来庁が不要」な手続きはコンビニ交付やオンライン申請等へ案内することにより、市民の来所の手間や時間を削減していきます。

拡充

3 オンライン相談システムを拡大

予算額 83万2千円

「オンライン相談システム」に3業務を追加し、9業務に拡大します。スマートフォンやタブレット端末から「いつでも・どこでも」相談ができるサービスを拡充していきます。

新規

4 公共施設予約システムにオンライン決済を導入

県内最多施設数

予算額 1,542万2千円

年間約20万件の利用がある公共施設インターネット予約システムに、クレジットカードによるオンライン決済を導入することで、「いつでも・どこでも」予約から支払いまでの手続きを完了することを可能としていきます。

拡充

5 書かない窓口システムの手続きを拡大

予算額 2,800万円

「書かない窓口」の対象に30の手続きを追加し、75の手続きに拡大します。マイナンバーカード等の活用による申請書の記入省略や、必要手続きの一覧化により、窓口に来所した市民が「書かない」「待たない」「回らない」窓口を拡充していきます。

⑥人と環境にやさしいまちづくり

(2) ゼロカーボン社会の実現に向けた取り組み支援

令和7年度予算額：7,661万4千円

市民・事業者の脱炭素への取り組みを支援するとともに、公共施設の脱炭素化を推進します。

①②④⑤：ゼロカーボンシティ推進担当室 ☎047-710-0243
③：公共施設再編課 ☎047-701-5217

新規

【市民・事業者への取り組み支援】

① エネルギー対策事業 200万9千円 (会計別予算案 P91~93)

○市民及び事業者の脱炭素化の推進のため、次の補助を新設します。

- ・製造が停止予定の原動機付き自転車からの切り替えを促進するため、
電動バイクの購入費用の一部を補助(上限：2万円)
- ・宅配の再配達を減らすため、配達ボックスの設置費用の一部を補助(上限：戸建 5万円 集合住宅 10万円)

② 環境意識向上事業 9万9千円

市内の児童・保護者向けに太陽光発電設備に関する環境意識向上セミナーを実施します。

新規&拡充

【公共施設における取り組み】

③ 公共施設照明LED化事業 6,700万円 (会計別予算案 P12)

公共施設等照明の一括LED化を進めるため、既存照明の数や種類等の調査を実施します。(調査予定：268施設)

④ 市立保育所関係事業 50万6千円 (会計別予算案 P59)

CO2を排出しないカーボンオフセット都市ガスを市立保育所17施設に新たに導入します。

⑤ 小学校施設維持管理事業・中学校施設維持管理事業 700万円 (会計別予算案 P138~140)

PPA事業(※)により、市内の小学校6校と中学校3校における電気使用料の支払いを行うものです。

※ PPA事業とは初期費用ゼロで太陽光発電設備を導入し、その後の電気使用量の支払いで費用を償還する事業モデルです。